

コミュニケーションスタイル 4つのタイプの特徴

各タイプの特徴をタイプ別に説明しています。

直進型

プロセスよりも結果を重視します。結果を出すこと、リードすることが得意です。

決断するのも行動するのも早く、無駄を省き、最短で結果を求めます。

自分が人や周りをコントロールすることを好みますが、自分がコントロールされることを嫌います。

我が道を行くタイプで、仲間と一緒に何かをやることは苦手です。

促進型

チームのムードメーカー的存在として力を発揮します。

目立つことや注目されることを好みます。人と違うことが得意でアイデアが豊富。意表を突くことや裏をかくことも得意です。

人とよくコミュニケーションを取り、常に明るく場を盛り上げます。

企画すること、行動すること、チャレンジをすることも得意。

常に変化を求めるため、同じことを繰り返すのは苦手な飽きっぽいのも特徴です。

分析型

分析することが得意です。客観的に物事を捉え、常に冷静かつ慎重です。

情報収集に長けていて、より細かな、より多くの情報を集めます。

計画を立てたり戦術戦略を立てるのに大いに力を発揮します。

物事に対してじっくりよく考え、自分のペースで取り組みます。

急な発言やステップの見えない行動を求められるのは苦手です。

援助型

気配り上手で協調性が高く、皆のまとめ役として力を発揮します。

穏やかで温かく、「和」を大切にします。

人を援助することを好み、人の話を聞いたり相談に乗ることも得意です。

周囲の人の気持ちにも敏感で相手の立場に立ってものを見ます。

承認欲求が高く、人から認められたり感謝されることを求めます。

ノーと言えないのもこのタイプの特徴。自身の感情を溜め込むことも。

タイプ別声かけ集

効果的なコミュニケーションの取り方をタイプ別に説明しています。

直進型

対話・関わり方

端的に、結論から先に。しつこく関わりすぎず、放って任せる。意見を求めるのも有効。
→「あとはお前に任せろ」「頼んだぞ」「君の意見も参考にしたいのだけど」

効果的な褒め方

「君の出した結果、最高だね」
「あのプレーは完璧だね」
「やると思ったけど、さすがだね」
「そのスピード感は尊敬に値するよ」

促進型

対話・関わり方

トーンを上げてエネルギッシュに。ボディランゲージやハイタッチも有効。詳細にこだわらない。任せるのもモチベーションが上がる。
→「とりあえずやってみよう！」「ここはお前しかいないな」「お前の出番だ」

効果的な褒め方

「天才！」「最高～！」「やるね～！」「イエーイ！」「変だぞ！」
※褒め言葉は何でも嬉しい

分析型

対話・関わり方

抑揚つけず、淡々と、フラットに。事実を確認。相手のペースに合わせる、急かさない。順序立てて説明する。情報を与える。
→「今日はまずこれとこれを予定しています」
「こういうデータがあるんだけど」

効果的な褒め方

「君の情報はいつも正確だね」
「すごく具体的でいいね」
「よくここまで細かく分析できたね」

援助型

対話・関わり方

口角を上げ、穏やかに、うなづきながら話を聞く。常に気にかける。安心の環境を作る。大勢の前ではなく個別に話を聞く。
→「今の調子はどう？」「何か気になることはない？」

効果的な褒め方

「いつも感謝しているよ」
「君のおかげだよ」
「ありがとう」
「チームをまとめてくれて助かっているよ」